

日時：2019年4月18日（木曜）15:15～16:45

場所：同志社大学東京オフィス 会議室

https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/tokyo_o.html

講師： 中田喜文

同志社大学STEM人材研究センター長

同志社大学総合政策科学研究科教授

テーマ：「世界と比べた日本の技術者の生産性と労働条件
－ICT技術者に注目し、職種間比較も交え－」

日本の技術者の給与や労働時間等で見た労働条件は、日本国内の他職種との比較の点でも、また主要国の技術者と比較した場合においても、大きく劣っている。具体的には、SEやソフトウェア技術者等のICT関連技術者についてみると、ドイツやフランスの技術者は、残業を行うものは、ほぼ皆無である。また、為替レート、あるいは購買力で評価しても、日本のICT技術者の給与は、アメリカ、ドイツの技術者給与のほぼ半分の低さである。

この格差を考える1つの視点は、労働生産性の差異である。そこで、マクロ、産業、企業、そして個人のレベルで見た日本のソフトウェア技術者の労働生産性を他の主要国と比べると、おおむねこの説明は妥当性を持つようであるが、矛盾するデータも存在する。

労働条件、特に給与に関しては、労働条件の決定方式に関する国ごとの差異にも注目する必要がある。日本は企業内の諸条件で決まる部分が大きく、欧米ではより外部の労働市場の影響が強く、個別職種に関する労働需給要因が相対給与により直接的に連動する。過去からの職種間給与格差の変遷を日米両国について見ると、この説明と整合的にも妥当性があるようだ。

中田喜文

Ph. D. (経済学：カリフォルニア大学バークレー)

アラバマ大学助教授の後、同志社大学にて、助教授、教授として、労働市場論、戦略的人的資源管理論を担当する。この間、同志社大学ビジネススクー長、技術・企業・国際競争力研究センター長、ケンブリッジ大学ビジネス研究センター客員フェロー等を務める。また、内閣府、経済産業省、文科省、厚労省各種審議会、委員会の役職を務める。国際的には、Asian Management Review(～2014年), Springerの編集委員、またCalifornia Management ReviewのInternational Advisory board member.



主催：同志社大学STEM 人材研究センター (RISTEM)

研究助成： (株)テクノプロホールディング

参加申し込み先：ristem2019@gmail.com